

保育教育の目標

- ・ 集団の中で信頼関係を築けるこども
- ・ 身の回りのものに興味関心を持てるこども
- ・ 遊びを通して創造性豊かなこども
- ・ 生活に必要な習慣が身につき心身共に健康に過ごせるこども
- ・ 人の話を聞き自分の思いを伝えられるこども

ふるさと大好き!
ともだち大好き!
地球大好き!なこども

自立した子ども

様々な状況にあわせて、身の回りのことが自分で出来る

周囲の状況を判断し自分で考えて行動できる

自己抑制などある程度自分をコントロールできる

自己主張ができる

あそぶ意欲があり、身の回りのことが自分で出来る(自分中心)

喜んで登園し、園生活に慣れる

手洗い・うがい排泄ができる

個人の成長・発達
生命の保持・健康

みんなで協力して意欲的に物事に取り組める集団
一人一人を大切にし、その成長を支え合える集団

集団生活に必要な仕事を友達と協力して進めることができる

クラス集団の生活に必要な仕事を楽しく出来る

お手伝いを全員が経験する

お手伝いに関心を持つ

保育教諭や他児の動きや言葉に関心を持つ

異年齢の関わりの中、思いやる心を育む

子ども同士、お友だち、先生(保育士)との関わりの中で、思いやる心を育む

様々な環境にあった遊びをみんなで造りだす

大勢でルルを必要とする遊びを楽しむ

少人数の友達で話し合いながら遊びを工夫する

一人遊び

保育士と一緒に遊ぶ

集団生活

先生・子ども・父母相互の信頼関係

色々なことを経験する

- ◎丈夫な身体をつくる
- ◎大自然に感心をよせて探求心を持つ
- ◎美しいものや音に関心を寄せる
- ◎手先指先を使う
- ◎国際感覚をはぐくむ

異文化圏の人との交流
英語あそび

絵画・科学
語り聞かせ

お話
絵本・紙芝居

音楽
折り紙・版画

散歩・自然観察
折り紙・版画

「設定保育」や環境づくり

私たちは『環境を通して』子供の主体性や意欲を引き出していくアプローチを基本とし、先生と創る子供の集団生活(社会)と上土幌の大自然を大いに活用した広く豊かな経験の出来る保育を目指します

保育教諭
アプローチの視点

自分を大切にし、他者を認め、思いやりをもって生きる力を育む

町民や地域と保護者の願い

理念